



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第146号
令和3年3月号

1年の成長を振り返り、 次年度への意欲を!



早いもので、年度末の3月を迎えることになりました。杭州っ子たちは、学年のまとめと進学・進級に向けて、学校生活を日々大切に過ごしています。1年が終わるにあたり、学習面や生活面に加えて社会性や精神面など様々な点で成長しているのが分かります。子どもたちが未来に向かって伸びていこうとする力の素晴らしさを見るにつけ、改めて感動を覚えます。1年前と比べて背丈が伸び、顔つきもしっかりしてきた杭州っ子たちを見ると、豊かな時間を過ごしてきたのだろうと嬉しく思います。

子どもが主体的に学び、知識を身に付け、技能を習得していくためには、学びに向かう意欲が何より大切なことです。私たち教師と保護者の役割は、子どもたちの意欲を引き出していくことだと思います。子どもは、練習して自分の力でできるようになったり、努力して分かるようになったりした時の喜びや達成感を味わうことで、次への学びの意欲を高めます。また、学校やご家庭での日々の生活を通して成長した姿を、教師や保護者が子どもと一緒に振り返り承認する（褒める）ことも、子どもの意欲を沸き立てることにつながります。

ご家庭でも、この1年間でお子様ができるようになったことや成長したところをしっかりと見つめ、励まし、褒めていただけたらと思います。学校としましても、子どもたち1人1人の成長を丁寧に見つめ、進学・進級に向けての準備をしっかりとさせると共に、次年度への意欲をもたせていきたいと考えています。



2月に入り、卒業証書授与式と卒園式の練習が始まりました。今年度は、中学部9年生2名と小学部6年生3名の計5名が卒業を、幼稚部の4名が卒園を迎え、それぞれの進路を歩んでいきます。

卒業証書授与式に向けては、朝の時間や杭州タイムを使って、練習に取り組んでいます。1年生から9年生までの小中学部全員が一体となって創り上げていく卒業証書授与式は、本校にとって最も重要で大切な行事です。教室から、先輩たちへの感謝の気持ちを「贈る言葉」に込めて練習する「ありがとうございます」という元気な声が校長室まで響いてきます。

本校の校歌に「風に乗ってやってきた ひとつぶの種のように この大地に芽吹き 枝いっぱい 葉を繁らせよう」という歌詞があります。5名の卒業生と4名の卒園児は、杭州日本人学校で一生懸命に学び、運動し、仲間と育んだ友情の絆を胸に、それぞれの大地に根を張り、幹を太らせ、青々とした葉を枝いっぱい繁らせてくれることでしょう。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この1年間、本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

